

第4回

意識障害を呈した急性腎不全の1例

▶ 国立国際医療センター戸山病院 内科カンファレンスから

舩本祥一, 井上 剛, 日ノ下文彦

IRYO Vol. 63 No. 9 (583-588) 2009

キーワード：リチウム中毒, 意識障害, 急性腎不全

Key Words : lithium intoxication, consciousness disorder, acute renal failure

2009年7月23日に行われた国立国際医療センター戸山病院の内科 clinical conference の記録です。

司会：膠原病科医長 伊藤健司

参加者：研修医, レジデントなど約20名

日, コニール 8 mg/日, メデット 500 mg/日, リーマス 600 mg/日

入院時現症：身長157cm, 体重61kg, 体温35.2℃, 血圧91/45mmHg, 脈拍51/分, 整, SpO₂ 92% (r/a)

症例呈示

症例：73歳女性

主訴：意識障害

現病歴：2007年10月より躁うつ病に対して投薬治療を受けていた。2008年11月頃より、見当識障害、手指振戦などの症状が出現。12月に頭部MRIを撮影されたが、異常所見はみられず経過観察とされた。1月に入り嘔吐・下痢が出現。食事も摂れず、意思疎通も困難な状態となったため、1月中旬に精神科へ医療保護入院となった。

既往歴：高血圧症, 2型糖尿病, 躁うつ病, B型肝炎

家族歴：特記事項なし

内服薬：フルイトラン 2 mg/日, プロプレス 8 mg/

意識レベル：JCS I-3, GCS14 (E4 V4 M6)

四肢の振戦を認める。深部腱反射亢進
眼瞼結膜貧血なし, 眼球結膜黄疸なし
口腔内発赤なし, 扁桃腫大なし, リンパ節腫脹なし

呼吸音：右下肺呼吸音低下

心音：雑音なし

腹部：平坦軟, 腸音正常, 圧痛なし, 肝・脾触知せず

下腿浮腫：なし

司会

質問や確認事項はありませんか？ それでは自分が当直のときにこういう患者さんが来たらどうしますか？ 何を考えてどういう検査をすすめますか？

研修医1

胸部写真をとります。

国立国際医療センター戸山病院 腎臓内科

別刷請求先：有岡宏子 国立国際医療センター戸山病院 総合診療部 〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
(平成21年8月31日受付, 平成21年9月18日受理)

A Case of Lithium Intoxication with Acute Renal Failure

Shoichi Masumoto, Tsuyoshi Inoue and Fumihiko Hinoshita, International Medical Center of Japan